

医工連携イノベーション推進事業 開発・事業化事業
事後評価結果

1. 補助事業課題名 : AI を活用した眼科疾患診断支援システムの事業化
2. 補助事業代表者氏名（所属） : 小澤 素生（合同会社 G-Data）

<評価コメント>

研究から学会と産業界が一貫協力して連携対応する新しい社会実装のスキームで、学会、産業界の両面から支援を受けられる体制が構築されており、概ね計画通りに進捗した点は評価できる。今後、海外への展開も前向きに進められることを期待する。

以上